

ARTA



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

「王座へ、生まれ変わる ARTA」

2018 ARTA DIGITAL SEASON PREVIEW
NEW CHALLENGE BEGINS



新たなる船出。

それは新しいシーズンだからというだけではない。

21年目を迎えた ARTA は、新たなブランドへと進化し戦うのだ。



AUTOBACS



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



GT500 クラスを戦う ARTA NSX-GT は、開幕前のテストから好調な走りを見せた。昨年結果にこそ結びつかなかったものの端々に見せた光明を、いよいよ飛躍へと結びつける時が来ようとしている予感がする。



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



エースとしてチームをリードする野尻智紀は言う。
「様々なテストメニューをこなし、テストらしいテストが順調に行なえました。ここからこれまでに得たデータを、速さとレースでの強さにつなげていけそうです」

チームメイトには、9年ぶりの ARTA 復帰となる伊沢拓也が加わった。

国内トップカテゴリーに加えてヨーロッパでの修行も経験し、9年前とは比べものにならないほど厚みを増した走りに期待が膨らむ。

「9年振りにチームに復帰ということで、テストではチームとのコミュニケーションや野尻選手とのマッチングに時間を費やしてきましたが、全てがスムーズに来ていて、良い感触があります」



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



AUTOBACS

super AUTOBACS
ニッポンを元気に!

AUTOBACS
ARTA

COMTEC
PITPRO

COMTEC
PITPRO

Mobil 1

Mobil 1

Mobil 1

Mobil 1

PYCESTONE

AUTOBACS



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA

チームウェアはタフさと非日常感をイメージして黒色を基調としたハードなイメージに一新されたが、マシンは今年もオートバックスのイメージカラーであるオレンジ色を基調としたカラーリングを纏う。

2人が「サーキットで一番目立つカラーリング」と口を揃えて言うこの色は、伊沢いわく「他のマシンに早く気付いてもらえるので、スーパーGTのGT300クラスとの混走という特別なレースでは大きなプラスになると思います」ということらしい。

2人ともに2018年の目標はもちろん「チャンピオン」。野尻は純粋な速さを追求するように「複数優勝、複数ポールポジション」という追加条件を付け、伊沢は一筋縄ではいかないスーパーGTのシーズン全体の流れを考えて「2勝」という目標を掲げた。



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



勝つためには「速さと強さが必要」というのは当然だが、それに加えて必要なのが野尻は「チームワーク」、伊沢は「運」と、やはり2人それぞれの個性が表われていて面白い。

しかし、それぞれが自分たちの成長を見せようと心に誓っている。「去年は速い時そうでない時の“波”があったと思います。だけど今年はずべてのレースで高いパフォーマンスを示したいと思っています」(野尻)
「チーム移籍1年目なので、結果にこだわっていきたい。2009年に獲れなかったチャンピオンを獲るという想いは強いです！」(伊沢)



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



BRIDGESTONE
AUTOBACS

HONDA Panasonic

AUTOBACS

ARTA

Coca-Cola

BRIDGESTONE

BRIDGESTONE
AUTOBACS

BRIDGESTONE



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



一方、GT300クラスを戦う ARTA BMW M6 GT3 も、開幕に向けて準備は万端だ。
昨年は常に速さを見せながらもあと一歩が噛み合わず、タイトル争いから脱落してしまった。
その悔しさは、今年にしっかりと繋げるつもりだ。



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA

チームの屋台骨を支えるベテランの高木真一は、テストでしっかりと ARTA M6 GT3 の仕上げを行なって来た。

「マシンは 2018 年のアップデートパーツもいい感じでセットアップできているので、昨年よりアベレージスピードは上がっていると思います」

高木とタッグを組むのは、昨年に引き続きショーン・ウォーキンショー。

チーム加入初年度であり日本でのレースも初めてだった去年はやや戸惑いもあったが、今年は盤石の体制で臨んでいる。

「富士でのテストはすごく上手くいったし、予選シミュレーションでの速さも素晴らしかった。予定していた全てのプランをこなすことができ、いくつもセットアップ変更も試すことができたんだ。レースペースを完璧に上げるためにはもう少しセットアップの調整が必要だと思うけど、理想のあたりに近づいて来ているし、かなり強力な仕上がりになっていると思うよ」

GT500 クラスの ARTA NSX-GT よりも巨大な ARTA M6 GT3 のボディは、コース上で速さだけでなく威圧感さえ与える。それが高木のお気に入りのポイントだ。

「この威圧感で後ろから迫ってきたら僕でも嫌です（笑）」



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA

ARTA M6 GT3 をドライブしていて楽しいというショーだが、大きさは小回りに苦しむことにもなり、少し心配なレースもないわけではないという。

「M6 は富士やタイではとても速いはずだし、走っていてすごく楽しいよ！でもヘアピンのような場所では少し苦しいかもしれないし、そういう意味ではもてぎはあまり得意ではないセクションが多いね。だけど M6 が苦手なサーキットというのはそんなに多くないよ」



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA

今の ARTA には勝つために必要なものは全て揃っている。開幕前テストで強い手応えを掴んだショーンははっきりとそう語る。高木は「勝つために必要なのはもちろんチームワーク」と、自分の力だけでなくショーンもエンジニアもメカニックも、全員が一丸となって勝利に邁進することの大切さを知っている。

2人とも「目標は去年獲り逃したチャンピオンを獲ること」と断言する。

「今年はとにかくチャンピオンを獲りにいきます。そのためにも、無意味なリタイヤだけはしないよう、広い視野をもって戦っていきます」高木がそう言えば、2年目の今年は日本のサーキットもブリヂストンタイヤも学び成長したショーンも声を揃える。



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



「クルマはすごく速いしチームも素晴らしい、そしてものすごく速いチームメイトもいるから、それは可能だと思う。去年だってチャンピオンにかなり近いところまでいったし、いくつかの不運なリタイアさえなければチャンピオンになっていてもおかしくなかったんだ。だからこそ今年はたとえ表彰台が獲れない時があったとしても毎戦きちんとトップ5でフィニッシュし確実にポイントを重ねていくことが重要だと思う」(ショー)



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA

ショーンの成長は、エグゼクティブアドバイザーの土屋圭市もしっかりと実感している。

しかし競争の激しいスーパー GT だけに、楽観視ばかりもしてられない。土屋はしっかりと気を引き締め直してシーズン開幕に臨もうとしている。

「2年目のショーンが楽しみ。テストでは真一に負けなくらい良いタイムを出していたからね。昨年同様、ミスの無いレース運びに期待している。心配なのはライバル勢。開幕戦に合わせて新車を投入してくるチームが多いから、テストだけでは判断出来ない部分が多い。メチャ速いか、新車に出がちなトラブルが出るか？そこに我々がどう絡めるか？開幕を楽しみにしているよ」



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



W Motorsport



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA

そして鈴木亜久里総監督もその点は同じだ。

「ARTA M6 GT3 はおおむね順調だけど、ライバルの伸びしろがどのくらいあるのか分からないよね。開幕戦でハッキリするだろうけど、面白いレースを見せることが出来るんじゃないかな」

そして3メーカーが威信をかけて挑むGT500クラスは、さらなる激戦が繰り広げられることになる。昨年までは苦戦を強いられることの多かったホンダNSX-GTも今年はパフォーマンスを格段に伸ばしてきているが、それでもどこかのクルマだけが飛び抜けた速さを発揮するような世界ではない。そんな激戦の中でもしっかりと結果を掴み取るチームとしての強さは、この数年間のレースで鍛えられてきたはずだと亜久里監督は語る。

「蓋を開けてみないと実際のところまでは分からないけど、ライバルに対してアドバンテージは全く無いと思っている。シーズン序盤は苦戦すると思うけど、開幕戦は毎年波乱があるから戦況を見ながら上手く対応していくことで結果につながると思う。今のボク達のチームはそれが出来ると思っているよ」



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



2018年のスーパーGTが、いよいよ開幕する。
雌伏の時は終わった。今こそ生まれ変わるべき時だ。
大きな飛躍へと、ARTAの新たなる挑戦が始まる。



AUTOBACS
RACING
TEAM
AGURI

ARTA



株式会社オートバックスセブン

ARTA

THE "BIG RACE" FOR SUZUKI AGURI STARTED IN 1998
AS HIS VISION FOR THE FUTURE. OVER THE YEARS, IT HAS EVOLVED
THROUGH THE TOUGHNESS AND WILL OF ARTA. IN THAT SPIRIT,
ARTA IS RACING TO INSPIRE THE FUTURE OF MOTORSPORTS.



ARTA Project



ARTA DIGITAL You tube チャンネル

To Be continued next race...

ZERO
BORDER
Team ZEROBORDER

©2018 ZEROBORDER INC. All rights reserved. No reproduction or republication

Director and Photographer : Masakazu MIYATA

Text : Mineoki Yoneya

Design : Hiroaki KATAYAMA

Special Thanks : AUTOBACS SEVEN CO., LTD